

ミャンマー

Myanmar

東南アジアの北西部に位置し、多様な文化と豊かな歴史を誇る国です。かつて、「ビルマ」として知られていましたが、1989年に軍事政権によって国名が変更されました。



国旗について

黄色は団結、緑は平和と豊かな自然、赤は勇気と決断力。中央の白い星は安定した国家と人々が1つになることを指す。

首都	ネーピドー
人口	53,999,217人
面積	678,500km ²
公用語	ビルマ語
主な民族	ビルマ族
主な宗教	仏教
通貨	チャット

日本との時差
-2時間30分

日本から
約9時間

服装 カラフルな伝統衣装 ロンジー

伝統衣装は、活気ある文化と温かいおもてなしの心を表しています。多民族国家であり、ロンジーのデザインも各民族によって特徴があります。



食事 世界有数の米どころ

ミャンマーの主食はお米で、消費量は日本の3倍とも言われており、世界最大の米の輸出国だった時代もありました。朝食の定番である「モヒンガー」は、お米を使った麺で、魚(ナマズ)のスープで煮込んだ料理です。



観光 仏教遺跡が多数存在し見どころ満載

2019年に世界遺産に登録されたバガン遺跡は、世界三大仏教遺跡の1つで40kmもの広大な敷地を持ちます。バガン平原には2,000以上のパゴダや仏塔が点在しています。



ミャンマー仏教徒が聖地として大切にしている黄金の仏塔です。金色に輝く仏塔利塔は、高さ99mに達し、釈迦の毛髪8本を収めているとされ、頂上には何千もの宝石が飾られています。



祭り 熱狂と浄化の伝統行事

ティンジャン祭り

仏教徒の新年を祝し、神聖な水で身を清める儀式です。ミャンマーの人々は、思いやりの心を込めた水を使って相手の悩み、苦しみという心の悪火を取り消すため、また、旧年の不幸や汚れをその水で流して綺麗な身体で新年をお迎えするため、毎年4月12日から16日までは水をかけます。4月17日が新年です。

スポーツ ミャンマーの国技 チンロン

「チン」は籐、「ロン」は球体を意味します。ヤシ科の籐で作られたボールを使い、6人のプレイヤーが円を作って蹴り合うスポーツで、路上などで娯楽として老若男女に広く親しまれています。日本でいうところの蹴鞠です。



国民 思いやりの精神 世界寄付指数第2位

ミャンマー人は他者への思いやりが深く、社会全体で助け合う文化が根付いています。世界寄付指数において高い順位を誇り、国民の大半が慈善活動に積極的です。現世での行いが来世をより良いものにする可能性を高めるという仏教からくる信念の影響によるものと言われています。

